

フォルテフェンスは2タイプ

L型タイプ 地面を掘削して基礎部分をうめる
基礎一体型のタイプ

L型工程

① 設置場所の確認後、掘削

掘削した部分に敷きコンクリートを打ちレベルが取れるよう均します。



② フォルテフェンスの設置

鉄骨角材部分（赤色）にコンクリート釘にて固定します。



③ 埋め戻し

コンクリートで埋め戻して養生します。



④ 表面の整え・外装仕上げ

ジョイント部分にメッシュを巻き、樹脂モルタルで塗り接着します。表面を樹脂モルタルで塗った後、メッシュを貼りつけその上から樹脂モルタルを塗って表面を整えます。養生後仕上げを塗り完成です。

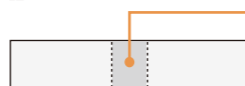


I型タイプ コンクリートブロックの上
または擁壁の上に設置するタイプ

I型工程

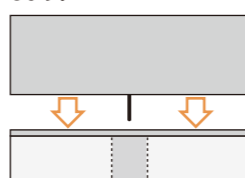
**① 設置場所の確認後、
モルタル詰め**

設置場所を確認の上、設置部分にモルタルを詰めます。



② フォルテフェンスの設置

設置面に樹脂モルタルを塗りフェンスを設置します。



③ 表面の整え

ジョイント部分にメッシュを巻き、樹脂モルタルで塗り接着します。表面を樹脂モルタルで塗った後、メッシュを貼りつけその上から樹脂モルタルを塗って表面を整えます。



④ 外装仕上げ

養生後仕上げを塗り完成です。



フォルテフェンスはお客さまのイメージに基づいたオーダー感覚で塀や門柱、モール、倉庫等数々のバリエーションに自由設計で対応できる商品です！



- カタログは予告なく価格及び内容等を変更することがありますのでご了承ください。
- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。
- 印刷物につき、写真と実物は多少相違することがございます。
- 本パンフレットに記載されている、写真・文字等の無断転載を禁じます。

お問い合わせ

プライベート空間を美しく確保する

フォルテフェンス

塀・門柱

モール

倉庫

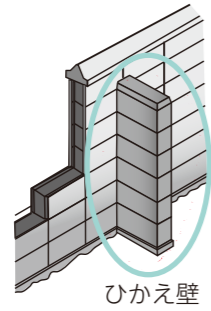
ディスプレイ



フォルテフェンス

高い塀でも施工が簡単

プライバシー確保のため道路からの視線を完全に遮るには約1,600mm以上の目隠しが必要です。フォルテフェンスは、従来のコンクリートブロックでは難しい高さも簡単に施工可能です。



フォルテフェンスは2m以上の塀を施工する場合でもひかえ壁不用で施工が出来ます。



フォルテフェンスは超軽量ですので塀や門柱以外にも使われています。

フォルテフェンスは安全を第一に考え開発された商品です

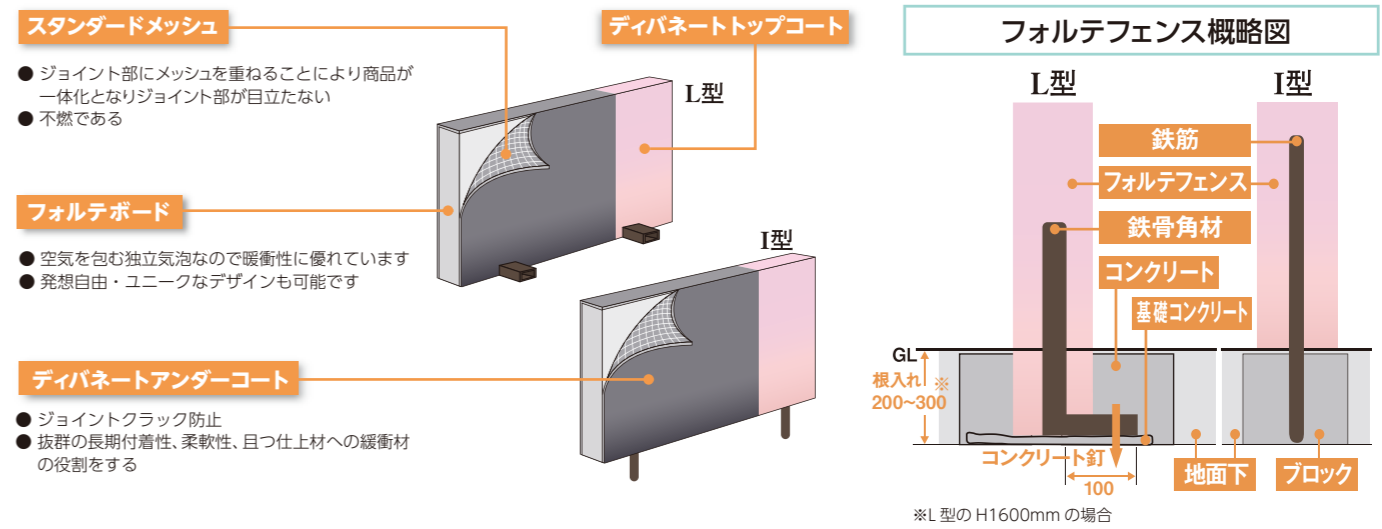


フォルテフェンスの3つのポイント

- POINT 1 省コスト・効率性**
従来に比べて工期を大幅に短縮。
コンクリートに比べて素材が軽く取り扱いやすいため施工効率がよく、工期も大幅に短縮できました。
- POINT 2 安全性・耐久性**
軽量でしかも衝撃にも強い。
従来のコンクリート壁に比べて安全性が飛躍的に高まり、しかも耐震性にも優れています。
- POINT 3 デザイン性・嗜好性**
オーダーデザインにも対応。
加工しやすい特性を活かして、お客様のイメージに合った自由なデザイン製作が可能です。

構造

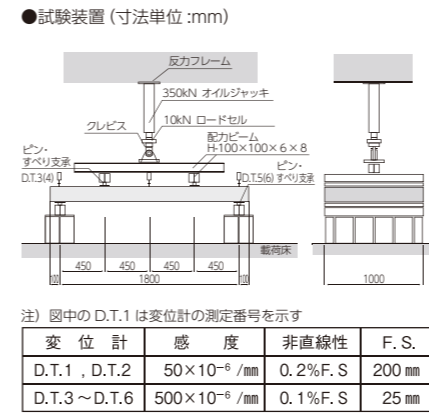
フォルテボードを芯に用い、アンダーコートとスタンダードメッシュを重ねた塀材。



性能

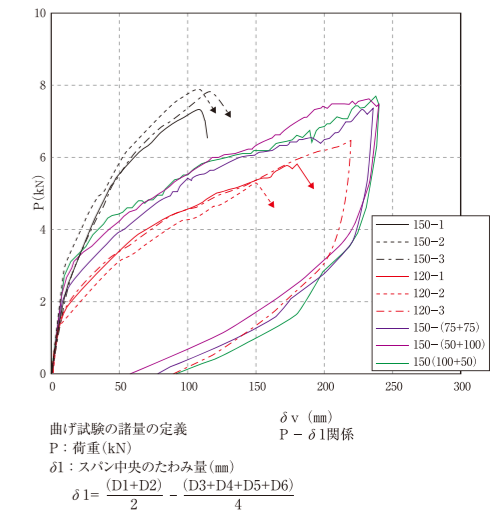
フォルテフェンス 強度テスト・結果一覧 ※参考値

具体的な数値で表す、フォルテフェンスの優れた強度が数値でも読み取れます。強度テストは公的機関で約3ヶ月間行われ2007年1月正式に強度性能が確認されました。下記にて一部テスト及び結果をご紹介します。



●試験結果一覧

試験体	最大荷重時		破壊状況
	P (kN)	δ1 (mm)	
150	No.1	7.35	108
	No.2	7.90	107
	No.3	7.81	116
120	No.1	5.83	180
	No.2	5.30	150
	No.3	6.48以上	219
150(75+75)	7.36以上	236	たわみ量が増大し、試験装置の限界(ピンの回転限界)に達したためこの時点で試験を終了した。
150(50+100)	7.60以上	232	
150(100+50)	7.70以上	238	



強度

フォルテフェンス 板の強度 板寸法: 500(巾)×910(長さ)

